



避難所運営訓練を行いました

大手公民館は地震などの災害が起きた時、要援護者優先避難所に指定されています。介護が必要な方、障害のある方、持病がある方、妊婦さん、乳幼児、アレルギーのある方、日本語が話せない方など、援護を必要とする方の避難所となつていきます。



情報共有をする班長会の様子



段ボールベッドの寝心地はいかが？



綿密な打ち合わせ(受付)



外国人避難者への通訳派遣も想定しました。

8月31日、大手公民館において要援護者優先避難所運営訓練が行われ、運営委員が活動班ごとの活動を確認しました。訓練では、受付はどこ？ 飲料水はある？横になれるところはある？〇〇さんは避難していますか？ご飯の配給はいつ？床が寒いから毛布がほしい！ Can you speak English? トイレの介助を頼めますか？取材は出来ますか？退屈だからテレビが見たい！など、色んな想定が提起され、各班が連携して対応しました。

「避難所は行政が設置して運営するから避難すればいい」とお考えの方もいるかもしれませんが、東日本大震災や熊本地震など、過去の災害において開設された避難所を見ると、避難者も一緒になって避難所の運営に携わっています。物資運搬や食糧配給の人手が足りなかったり、避難所の清掃を頼まれたりするかもしれません。避難者も避難所の運営に協力していく必要があります。災害が起きれば、避難所での生活を余儀なくされます。気持ちが沈みがちですが、「何か協力できることはありませんか？」その一言で、避難所がパツと明るくなるかもしれません。

松本城の野鳥たち ⑤〇 ～ハクチョウ松ちゃん～

令和元年7月20日永眠。
平成12年1月に彦根城から寄贈を受け、19年間松本城のお堀で過ごしました。白鳥の寿命が通常20年程度といわれているなか、松ちゃんは22～23年を生き、天寿を全うしました。松本城のお堀には現在3羽のハクチョウが住んでいます。皆さんで温かく見守っていきましょう。



お堀に住むハクチョウ

長元坊 チョウゲンボウ

私達の地球が位置する「天の川銀河」には、太陽のような恒星が一千億個、宇宙には天の川のような銀河が二兆個以上あると言われており、想像を絶する規模である。それぞれの恒星には、地球のような惑星を持つ星もあり、現在三千個余りが観測されている。当然の興味として、世界中の天文学者は、生物のいる惑星はないか一生懸命探しているが、まだ見つかっていない。非常に遠いのと暗い(光を発していない)ためである。

太陽系には八個の惑星があり、みなさんが周知のとおり、太陽に近い方から「水・金・地・火・木・土・天・海」の星々である。冥王星は軌道の違い等の理由から外されている。

私達の地球が位置する「天の川銀河」には、太陽のような恒星が一千億個、宇宙には天の川のような銀河が二兆個以上あると言われており、想像を絶する規模である。それぞれの恒星には、地球のような惑星を持つ星もあり、現在三千個余りが観測されている。当然の興味として、世界中の天文学者は、生物のいる惑星はないか一生懸命探しているが、まだ見つかっていない。非常に遠いのと暗い(光を発していない)ためである。

私達は、誇りと自信を胸に、穏やかに時を刻んで行きたいものである。(M・T)

学校・地域・家庭の連携を考える

令和二年度から、小学校の学習指導要領が改訂される。その中の一つに、「対話的な学び」から「実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能」を身につけようという内容がある。色んな人と対話（コミュニケーション）をしなが、社会で生きていくための知識と技能を学ぼうということだ。なるほど教科書を見て調べているだけでは得られないことだと思ふ。

色んな人とコミュニケーションを取るなら、地域の人に出会うのが手取り早いと思う。地域の人は、学校では教えてくれない沢山のことを知っている。松本城に詳しい人、キャンプが好きな人、カフェをやっている人、神社の総代さん、マレットゴルフが得意な人、伝統文化や歴史が好きな人、ヒモの結び方が詳しい人。公民館に来たり、地区の行事に参加したりすれば、それだけで地域の人とつながりができる。

保護者一人では出来ないことも、地域の人々の協力があれば、沢山のことができるし、子ども達も喜び、楽しい経験が出来ると思う。例えば、ある町会

では夏休みに町内公民館を使って子どもキャンプを行った。松本城を見学したり、流しそうめんをしたり、水遊びをしたり、町内公民館に泊まったり、まさに学校では体験できない事を経験した。もちろん宿題の時間もあつたそうだが、遊びたいがために猛スピードで宿題を終わらせた小学生や、中学生と一緒に小学生の宿題をやる場面もあつたそう。町会長やPTAの皆さん、地域づくりインターン生のおかげで、キャンプが行われた。子どもの喜ぶ姿のためなら協力したくない人なんていないはずだ。

今までは授業のお手伝いや遠足の付き添い、下校時の見守り活動などで学校を支援してきた。これからは地域の得意なこと、盛り上がりつつある事を子どもたちへ教えること、つまり地域の教育力も試される。その中から色んな関係ができて子どもが育っていく。

子どもが学校教育・地域教育・家庭教育の3つの教育で育っていけば、実生活での知識や技能を身に付け、社会で生きて働くことができるのではないか。

赤沢美林ウォーク

「突然ですが、皆さんに質問です。ウォーキング（軽い散歩程度）で100kcalを消費するには、何分歩けばよいでしょう？」

- ①10分・②20分・③30分

正解は……③の30分です！ 今日、8月26日は大手公民館と健康づくり推進員が主催した「赤沢美林ウォーク」の日だ。道中のバスでは、健康づくり課保健師の増田さんから、消費カロリーに関するクイズが飛び出した。

「30分のウォーキングで100kcalの消費です。ちなみにシヨートケーキ1つのカロリーは300kcalなので、90分歩いてケーキの分が消費できます。」

ケーキを食べるのは10分もかからないのに、歩いて消費するものすごい時間がかかるのか。それでも食べてしまうから日頃の食事には気を付けたところだ。

今回は歩数計が配布され、一日の推奨歩数がアナウンスされた。自分が何歩歩いたか一目で確認することができ、参加者の中には「あと2,000歩で推奨の7,000歩になる！」とフリータイムを有意義に使っ

ていた。この日の赤沢美林は快晴に恵まれ、気温もカラッとしており過ごしやすかった。

木材運び出すために使用されたトロッコにも乗り、木曾五木（ヒノキ・サワラ・ネズコ・コウヤマキ・アスナロ）の香りを感じながら森林浴を満喫することが出来た。

公民館ではウォーキングのイベントが定期的に行われている。自然や歴史を感じながら色んな所を歩くことは五感が刺激され、とてもいいことだと思ふ。



森林浴を満喫!

トロッコの前で記念写真

8月に桜が咲いた!?

8月のある日、そのシダレザクラから、花が咲いているのを発見！なんとアサガオがシダレザクラの枝をつたい、花を咲かせていたのです！

シダレザクラの下プランターに、アサガオの種が紛れていたようです。アサガオも生きるのに必死だなと感じながら、桜にもダメージがないか見守りたいです。



編集後記

夏休みの勉強をしに来てくれる小学6年生に、「公民館ってどんなところ？」と聞いてみました。「みんながワイワイ集まって、料理や会議をするところ！」と答えてくれました。公民館の楽しいイメージが伝わっているようで安心しました。来年からは中学生で、部活や授業に忙しくなると思いますが、心の片隅で公民館を覚えてくれているといいなと思えました。

(K・N)